

4夜連続、音楽の都で世界最高峰の響きに浸る贅沢体験 (4回のチケット付き)

ザルツブルク5連泊 イースター音楽祭の旅 8日間



ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 (祝祭大劇場) (イースター音楽祭イメージ) Osterfestspiele Salzburg/Pressefoto ©Stefan Rabold

ベルリンフィルがザルツブルクに復帰 カラヤンが創立したイースター音楽祭が今、再び輝きます

1967年当初は、夏に行われるザルツブルク音楽祭の追加企画として創立されたイースター音楽祭でしたが、短期間のうちに独自の音楽祭として定着したのは世界最高峰の演奏家や名指揮者、演出家の存在があってこそのものでした。モーツァルトが生まれ育ち、帝王カラヤンの故郷でもある音楽の都ザルツブルクで、4夜連続でベルリンフィルの演奏に浸る、音楽ファンにとってはこの上なく贅沢な旅となることでしょう。

イースター音楽祭 ベルリンフィル・コンサート鑑賞①

4月3日(金) 19時開演

指揮：キリル・ペトレンコ

演奏：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

演目：マーラー『交響曲第8番《千人の交響曲》』

会場：祝祭大劇場

イースター音楽祭 ベルリンフィル・コンサート鑑賞②

4月4日(土) 19時開演

指揮：トゥガン・ソヒエフ

演奏：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

ヴァイオリン：ジャニーヌ・ヤンセン

演目：ブルッフ『ヴァイオリン協奏曲』、ベルリオーズ『幻想交響曲』

会場：祝祭大劇場

イースター音楽祭 ベルリンフィル・コンサート鑑賞③

4月5日(日) 19時開演

指揮：ダニエル・ハーディング

演奏：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

演目：ハイドン オラトリオ『天地創造』

会場：祝祭大劇場



キリル・ペトレンコ Osterfestspiele Salzburg/Pressefoto ©Monika Rittershaus

イースター音楽祭 ベルリンフィル・オペラ鑑賞④

4月6日(月) 19時開演

指揮：キリル・ペトレンコ

演奏：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

演目：ワーグナー『ラインの黄金』(新制作)

出演：クリスティアン・ゲルハーヘル(ヴォータン)、プレントン・ライアン(ローゲ)、カトリオーナ・モリソン(フリッカ)、リー・メルローズ(アルペリヒ)他

会場：フェルゼンライトシュール

※指揮者、演奏者および演目は、2025年9月現在のものです。変更になる場合もございますので、予めお楽しみください

ツアープランナーより

世界的な名指揮者の指揮によるベルリンフィルの演奏が楽しめる春の風物詩「イースター音楽祭」。帝王カラヤンが1967年に故郷ザルツブルクにこの音楽祭を創立して以来レジデント・オーケストラを務めるも、2013年から2025年にかけてパーデン・パーデンでの音楽祭に出演するため離脱していたベルリンフィルが、2026年から久しぶりにザルツブルクのイースター音楽祭に復帰。これに合わせ、ワーグナーの大作オペラ『ニーベルングの指環』



岩山を削りぬいて建てられたフェルゼンライトシュール(イメージ) ©andreas_kolarik



祝祭大劇場(イメージ) Osterfestspiele Salzburg/Pressefoto ©Vincent Forstenlechner

四部作を2026年から2030年の複数年にかけて上演することが発表され、世界の音楽ファンの注目を集めています。ワールドではこの記念すべき年のザルツブルクイースター音楽祭を存分に満喫いただくべく、4夜連続でチケットを確保いたしました。目玉となる『ラインの黄金』の脇を固める最高峰のコンサートも合わせて、春の音楽三昧をお楽しみください。

ザルツブルク旧市街のホテルに5連泊し、モーツァルトゆかりの場所を訪ねます。

神童モーツァルトが生まれ、幼少期を過ごした町ザルツブルク。中世の面影が残る旧市街のゲトライデガッセにはモーツァルトの生家、そして少し歩けば、モーツァルトが洗礼を受けた大聖堂や住居など、モーツァルトゆかりの場所が町中に点在しています。町を歩けば、あちらこちらのお店でモーツァルトのチョコレート(モーツァルトクーゲルン)やグッズなどが売られていて、天才作曲家がいかにかこの町で愛され、町の誇りであるかを感じることができます。



モーツァルトが洗礼を受けたザルツブルク大聖堂



ゲトライデガッセにあるモーツァルトの生家



ヘルブルン宮殿など市外の見どころもご案内します。(イメージ)

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：EM133T
集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田空港集合・8日間】 2026年 4月1日(水)	エコノミークラス利用 ¥1,150,000	ビジネスクラス利用 ¥1,800,000
4回のチケット代金込み		
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥160,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：羽田～イスタンブール～ザルツブルク/ミュンヘン～イスタンブール～羽田間に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥46,500：2025年9月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	個人参加条件がございますので各支店へお問い合わせください。
----------	--	-------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港23:05発→	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	宿泊地・食事 (機中泊) □□機
2	イスタンブール04:50着 イスタンブール07:45発→ ザルツブルク09:20着⇐ (アニフ)	航空機を乗り換え、ザルツブルクへ。着後、アニフにあるカラヤンの墓へご案内します。午後、ホテルにチェックイン。	[5連泊](ザルツブルク泊) 朝昼夕
3	ザルツブルク(旧市街散策)	午前、旧市街の観光。●モーツァルトの生家、ゲトライデガッセを訪れます。また、モーツァルトが洗礼を受けた●大聖堂にてオルガンコンサートもお楽しみください。老舗レストランの昼食では、デザートにザルツブルクガーノッケルンをご用意しました。午後、自由行動。 【今夜から4夜連続で、ザルツブルクイースター音楽祭にてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートをお楽しみください。】本日はキリル・ペトレンコ指揮、マーラー『交響曲第8番《千人の交響曲》』を鑑賞します。(注) (ザルツブルク泊) 朝昼□	
4	ザルツブルク(新市街散策)	午前、ザルツブルク新市街の観光。映画『サウンド・オブ・ミュージック』が撮影された○ミラベル庭園へ。その後、●モーツァルトの住居と腐笛小屋へご案内します。午後、自由行動。 夜、イースター音楽祭にてコンサート(ブルッフ、ベルリオーズ)鑑賞をお楽しみください。(注) (ザルツブルク泊) 朝昼□	
5	ザルツブルク(ヘルブルン宮殿)	午前、公共交通機関にて、水仕掛けの庭園で有名な●ヘルブルン宮殿へご案内します。午後、自由行動。 夜、イースター音楽祭にてハイドン作オラトリオ『天地創造』の鑑賞をお楽しみください。(注) (ザルツブルク泊) 朝□□	
6	ザルツブルク(ザンクト・ギルゲン)	午前、公共交通機関にてヴォルクガング湖畔のザンクト・ギルゲンへ。モーツァルトの母が生まれ、姉のナンネルが過ごした可愛らしい町の散策をお楽しみください。その後、ザルツブルクに戻ります。午後、自由行動。 夜、イースター音楽祭にてワーグナー作『ラインの黄金』の鑑賞をお楽しみください。(注) (ザルツブルク泊) 朝昼□	
7	ザルツブルク14:00発⇐ ミュンヘン19:30発→ イスタンブール23:25着	出発まで自由行動。午後、バスにてミュンヘン空港へ。夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝□機
8	イスタンブール02:00発→ 羽田空港19:20着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。夜、羽田空港に到着後、解散。	機中泊□

※イースター期間中は平日と異なり、観光箇所の開館時間が変更となる場合があります。混雑も予想されるため、状況によっては観光順序や日程を入れ替えてご案内する可能性もございます。(注)指揮者、演奏者および演目は、2025年9月現在のものです。変更になる場合もございますので、予めお楽しみください

お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ピュウフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等の食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食5回、昼食4回、夕食1回 ■添乗員：羽田空港ご出発から羽田空港ご到着まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時6ヶ月以上 ■パスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上を含む3ページ以上 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出ください。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認ください。

ご宿泊ホテル 「旧市街の好立地にある「ラディソン・ブリュ・アルトシュタット」に5連泊

ザルツアハ川沿いに建つ14世紀の邸宅を改装利用したホテル館内には、木製の梁や精巧なスタッコなど、随所から深い歴史が感じられます。イースター音楽祭の会場へも徒歩10分ほどと大変便利なホテルを拠点に、自由時間には町歩きやカフェでの時間もお楽しみください。



※バスツアー付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。